

平成 19 年 2 月 22 日

新 宿 区 長

法 人 名 特定非営利活動法人テラ・ガーデン新宿

所 在 地 新宿区百人町 3-1-6

（フリガナ）キタバタケミスズ

代表者氏名 北 畠 美 篤

事 業 実 績 報 告 書

新宿区協働推進基金条例施行規則第 19 条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	高齢者のためのあきらめないパソコン講座 平成 18 年 7 月コース
実施日時又は期間	平成 18 年 6 月 26 日から 8 月 5 日まで
対象者の範囲及び人数	主として新宿区在住の高齢者、障害者 108 名
事業内容	パソコン、デジカメの技術カルチャー講座 止まり木タイム（教室における自由研究と談話） 個人講習、障害児の講習
具体的な活動状況	パソコン入門、基礎技術、インターネット、メール。 デジカメ初級、実践講座 個人講習、障害児の学習支援も含めた講習。 「マンボウ組」を設けグループレッスンになじまない高齢者へのゆう ゆうたる支援。 「止まり木」は受講した内容の確認の自習。水曜日にはクラーク高校 生の参加。
事業の成果	分からない、忘れるを当然の現象と承知し、ゆっくりやさしく、対話 の中で講習することで、高齢者が IT 技術に親しみ、失われる家族や友 人との絆を取り戻す。一生ここで学習する、と言わせる環境を作っ ている。高校生や若いボランティアとの交流で世代を超えた人生のふれ あいがある。親も気づかない障害者の子の悩みや意欲を知る。 まさに「ふれあいいいききサロン」である。

2 助成対象事業費内訳（実績）

内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収 入	経 費	積算根拠（内訳）		金 額
	団体負担金			13,920 円
	参加費・資料代等	参加費 800 円×12 時間×108 名 = 1,036,800 円 資料代 500 円×108 名 = 54,000 円		1,090,800 円
	その他の収入	テラ・ガーデン年会費 6,000 円 70 名 6,000 円×70 名×1/6（年間6クールの按分） = 70,000 円		70,000 円
	協働推進基金助成金	助成金申請額 180,000 円		
	計			1,354,720 円
支 出 （ 助 成 の 対 象 に な る 事 業 費 の 内 訳 ）	費 目	決算額	内 訳	
	会議費	261,000 円	会場費 1 講座 3,000 円×14 回×6 週間 = 252,000 円 打合せ 3 回 9,000 円	
	宣伝費	9,500 円	ポスター印刷 6,000 円 テラ・ガーデン案内書作成 1 部 70 円×50 部	
	リース費	16,800 円	ゼロックスカラーレーザー機 1 講座 200 円×14 回×6 週間 = 16,800 円	
	消耗品費	19,980 円	名刺ソフトなど 3,330 円×6 週 = 19,980 円	
	謝礼	437,515 円	講師謝礼 別紙明細	
	材料費	110,200 円	テキスト代 1,000 円×108 人 = 108,000 円 写真印画紙 60 円×20 枚 = 1,200 円 名刺用紙 50 円×20 枚 = 1,000 円	
	交通費	22,440 円	高尾在住講師バス代 1,740 円×6 週分 = 10,440 円 規定による支給 往復 400 円限度×6 週×5 名 = 12,000 円	
	その他諸経費	30,000 円	プロバイダ契約(yahoo5,500 円 biglobe2,100 円 3 ヶ月 22,800 円) 郵送料（クラス通知等 50 円×108 名 = 5,400 円） （資料送付等 1,800 円）	
助成対象事業費（小計）		907,435 円		
余 剰 金		0 円		
助成対象外事業費		447,285 円	デスクトップ PC, LAN 146,890 円 デジカメ一式 37,660 円 年間共通費等負担分 142,735 円 水道光熱費 40,000 円 OA用品 80,000 円（6/11～8/10 84,461 円の 95% 按分）	
事 業 総 額			1,354,720 円	

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた課題について、どこまで達成できたか。	<p>受講者数の見積もりに当たって、パソコン入門クラスの人数と進級者の見込みから、ある程度の総数が想定されるが、今回は電子メールの受講者が大幅に増え、合計 14 講座となったため、計画より 18 名の受講者増となった。</p> <p>継続受講者が安定しているのは、テラ・ガーデンのシステムが支持されている為と自負している。</p>
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	<p>受講者の数ではなく、受講した方が地元の自治会や趣味の会で覚えた技術で貢献をしている例が見られる。自分が社会で必要とされることによって生きがいのある人生を実感されるのではないか。</p>
新たに気づいた課題は何か。	<p>すでに体力気力が衰え、テラ・ガーデンに出て来れない高齢者を考えると、元気な高齢者だけを対象としていないで、より広い概念の「いきいきサロン」を用意すべきではないかという考え方が出てきている。</p>
理解者や支援者が広がったか。	<p>新宿社協や、ボランティアセンターが、ボランティア希望者を積極的に紹介してくれるようになった。、赤ちゃん連れの女性、初めての学生などのほか、会計のプロ、ニート出身で、今や理事候補にもなっている人も居る。</p>
事務局の執行体制は十分だったか。	<p>テラ・ガーデンの執行体制は全員ボランティアであり、時には家庭の事情や、子息の受験、病気などでフル活動が出来ないことがある。現在はまだ、専門化するより、身内で補い合って頑張るほうが良いという状態でやっている。</p>
今回の事業を発展させた新たな事業としてどのような事業が考えられるか。	<p>現在の事業はカリキュラムの再編成で講習をより明確化するが、パソコン以前の孤独な高齢者に対する「食事、会話、お出かけのための居場所作り」を早急に立ち上げたい。</p>
その他	<p>テラ・ガーデンの隣接の店舗でレストランが撤退し、上記の「居場所作り」の環境が出来たところへ、新宿区の協働事業提案の呼びかけがあり、応募して今般採用された。</p> <p>テラ・ガーデンとしては、NPO の「その他事業」実施の手続きに入っている。(臨時総会、定款の変更、東京都、国税庁への申請)</p>

4 活動の成果

* 事業の成果物(冊子など)又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。

* 参加者の意見なども報告してください。

助成対象の事業は、年間6クール行っている講習会のうちの一つであり、今回も成功裏に終了できたと思う。

新宿区の支援のおかげで、新しい受講生が年間50~60人参加してくれるが、その方々がみな上級に進み、お互いに親しくなり、自発的にグループを結成し、研鑽に励む姿も見られるようになった。

デジカメのグループは、撮影会、品評会をかさね、最近は一泊旅行も自主的に実施している。「今時になってこんな友達が出来るとなんて考えても居なかった。テラ・ガーデンにきてよかった」と喜ばれている。

また、マンボウ組という悠然と人生を達観しておられる受講生組は、自らテーマを見つけて、楽しんでいる。ランボウの吟遊詩人を暗記して清書している人、2・26事件の目撃談をブログに書いている人、戦友の名簿の作成を頼まれた人、ゆっくりとデジカメの取扱い説明書を読んでいる女性、陶芸の入選作の掲載誌からスキャナーで年賀状を作る高齢婦人、まさに人生の達人である。

止まり木(教室の無料開放)の時間には、「お婆ちゃんは英語を知らないからきっとだめだよ」と馬鹿にした孫を見返してやるとがんばる人、おやつを持ってきて振舞っている人。やっぱりここはフツのパソコン教室ではない。



三脚を持つことすら恥ずかしがっていた受講生が、今や腹ばいも厭わず、いっぴしのカメラパーソンである。(2006-7 上野不忍池にて 蓮の撮影会)